

The background image shows a serene sunset over a body of water, likely a lake or sea, with distant mountains visible on the horizon. The sky is filled with soft, pastel-colored clouds ranging from deep blue to orange and yellow.

私たちの暮らしと気候変動

なにをする？

てきおうさく
適応策

山口県気候変動適応センター

気候変動と適応策とは

気温の上昇や大雨頻度の増加、降水日数の減少、海面水温の上昇など、ここ数十年、気候変動は世界中で自然及び人間社会に影響を与えていたとされています。

山口県でも、時間当たり50mm以上の短時間強雨の増加や夏期の気温上昇による熱中症搬送者数の増加など、気候変動の影響と考えられる現象がすでに現れています。

こうしたことから、気候変動の影響に対して、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入促進などの「緩和策」に加え、気候変動による影響を防止・低減する「適応策」を推進していくことが必要となっています。

緩和とは？ 適応とは？

CO₂を減らす

変化する気候に備える



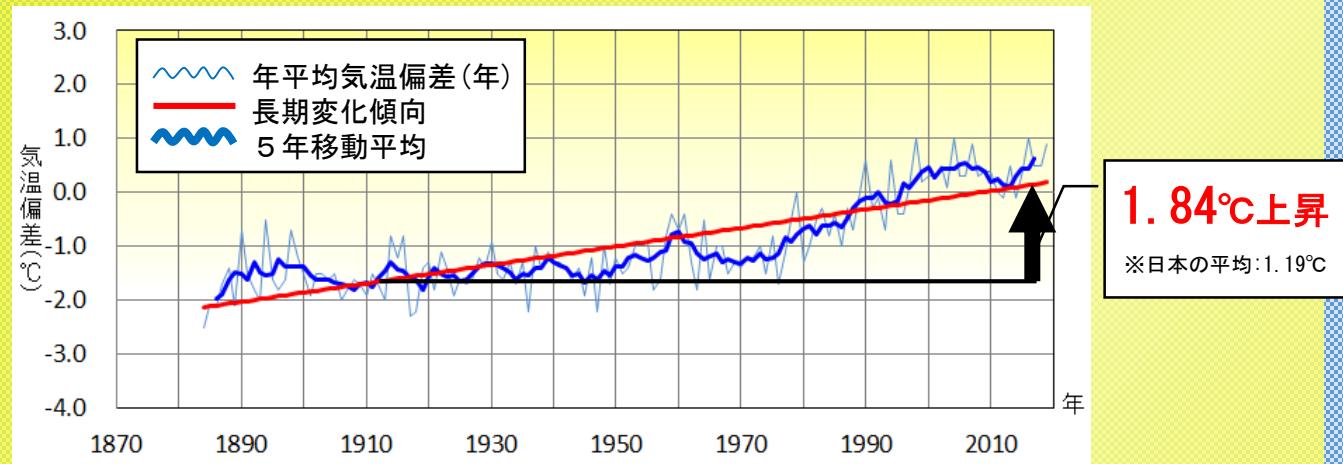
人間社会や自然の生態系が危険に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が必要です。

緩和を実施しても気候変動の影響が避けられない場合、その影響に対処し、被害を回避・低減していくことが適応です。

データでみる山口県の気候変動

■ 年平均気温の経年変化（下関市）

過去100年あたりの年平均気温は 1.84°C 上昇しており、日本の平均 1.19°C より上昇幅が大きくなっています。

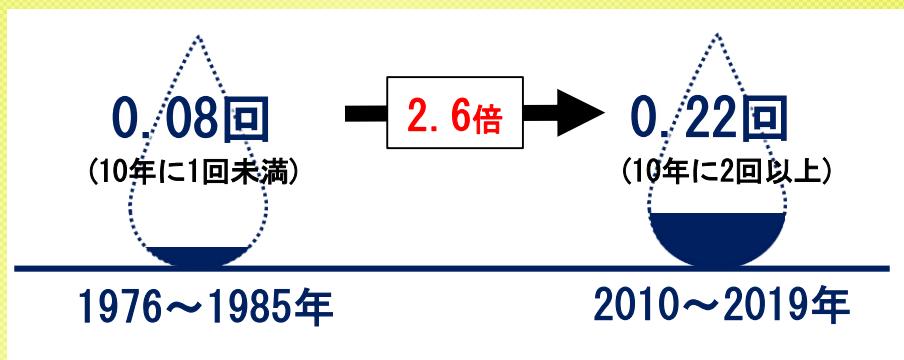


出典:福岡管区気象台「九州・山口県の気候変動監視レポート2019」

■ 短時間強雨※の年間発生回数（山口県）

(※1時間降水量 50mm以上：傘がまったく役に立たなくなるような非常に激しい雨)

1976年から1985年の平均回数(約0.08回)と比べて、2010年から2019年の平均回数(約0.22回)は約2.6倍に増加しています。



<将来予測>

- 21世紀末の年平均気温は現在と比較して 4.1°C 上昇
- 短時間強雨の発生回数が更に増加

気候変動の影響と適応策の方向性

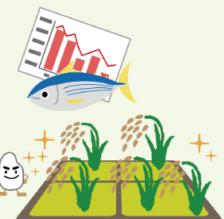
農業、森林・林業、水産業

影響

- 高温による農林水産業の生産量減少や品質の低下
- 豪雨による山地の崩壊など

方向性

- 高温耐性品種の導入や家畜の暑熱対策手法の指導、海洋データの情報提供
- 治山施設の整備や森林整備の推進



水環境・水資源

影響

- 河川・湖沼・海域の水質変化
- 豪雨の発生増加や渇水の頻発化など

方向性

- 河川・湖沼・海域のモニタリング
- 県土木防災情報システムによる情報提供
- 工業用水の安定供給体制強化の推進



自然生態系

影響

- 高温による湖沼の貧酸素化や、降水量の減少等による湿地への影響
- 高水温による海藻類の衰退など

方向性

- 河川・湖沼・海域のモニタリング
- レッドデータブック等を活用した希少種保護や外来種対策など



自然災害・沿岸域

影響

- 短時間強雨の増加による水害や土砂災害の発生
- 強い台風の増加による沿岸地域の高潮被害の増大など

方向性

- 市町と連携した防災意識の醸成や地域の防災活動の推進
- 県土木防災情報システム等による情報提供
- 災害廃棄物適正処理の推進



健康

影響

- 熱中症患者の増加
- 感染症を媒介する蚊の生息域拡大など

方向性

- 熱中症予防対策の周知
- 蚊が媒介する感染症対策の啓発



産業・経済活動

影響

- 高温による企業の生産活動の低下、海面上昇等による生産設備への被害
- 自然災害による観光産業への影響など

方向性

- 適応策に関連する製品開発や、普及を支援する適応ビジネスの推進
- 観光関係機関による風評被害対策



県民生活

影響

- インフラ・ライフラインへの影響
- 暑熱による生活への影響など

方向性

- 災害時の電源確保のための自立型電源の普及
- 熱ストレスの予防対策やクールシェアの取組推進



身近な適応策

近年、夏季の猛暑日の増加と共に熱中症患者の発生数が増加しています。

熱中症の正しい知識を知り、日常生活の中で対策(適応策)を実践しましょう！

熱中症 対策

熱中症とは？？



暑さによって生じる障害の総称です。人は汗をかくことによって体温を調節していますが、暑さにさらされると、汗をかき、体内の水分や塩分の減少や血液が滞るなどして、体温の調節がうまくいかず熱中症になってしまいます。

熱中症対策のポイント

暑さをさけましょう

日陰・帽子の使用を心がけることが大切です。少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動するようしましょう。



こまめに水分・電解質補給

カラダから失われた汗には、ナトリウムやカリウムなどの電解質(イオン)が含まれています。そのため、水分・電解質補給にはイオン飲料がオススメ！



日頃から体調管理

健康なカラダをキープするためにも、普段から「栄養バランスが良い食事」「適度な運動」「十分な睡眠」で規則正しい生活を意識しましょう。



新しい熱中症対策

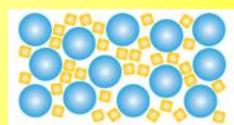
「プレクーリング」！

水分・電解質補給に加え、暑熱環境下においては、運動や作業の前に身体を冷却しておく「プレクーリング」が、熱中症対策のひとつとして推奨されています。方法の一つとしてアイススラリーも有用です。



ポカリスエット
アイススラリー

アイススラリーとは、個体粒子が液体に分散した流動体の状態。通常の氷より効率よく冷却できると言われています。



結晶が小さく流動性がある



山口県

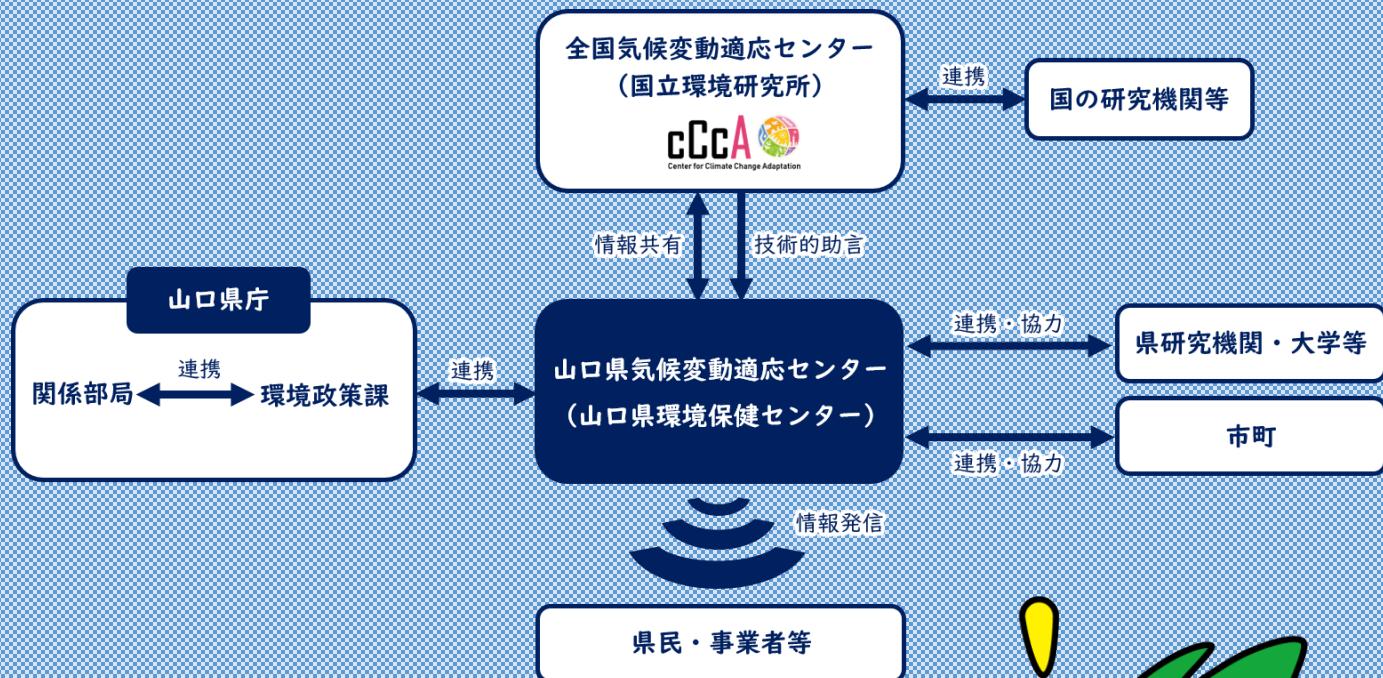


Otsuka 大塚製薬

山口県と大塚製薬は包括連携協定を締結し、県民の皆様の熱中症対策に取り組んでいます。

山口県気候変動適応センターの役割

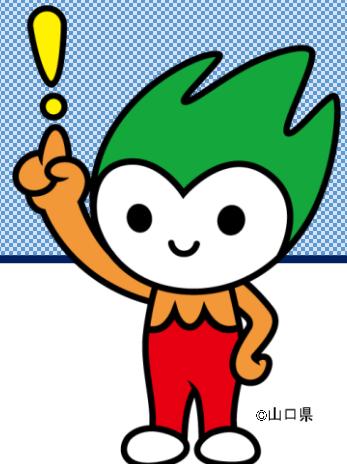
山口県気候変動適応センターは、気候変動適応法第13条に基づく地域気候変動適応センターとして、さまざまな関係機関と連携しながら、情報の収集、整理、分析及び提供並びに技術的助言を行うとともに、県民・事業者等へ気候変動及び気候変動適応に関する情報を広く発信していきます。



山口県気候変動適応センター (山口県環境保健センター 大歳庁舎)

〒753-0871 山口県山口市朝田535

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a13231/kikouhendou/home.html>



©山口県

【問い合わせ先】

山口県環境保健センター 企画情報室

大歳庁舎:山口県山口市朝田535 TEL:083-924-3670 FAX:083-924-3673

葵 庁 舎:山口県山口市葵2-5-67 TEL:083-922-7630 FAX:083-922-7632

E-mail: kikohen@pref.yamaguchi.lg.jp